

7月18日

2013年
(平成25年)

木曜日
第17902号(日刊)
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

各地の話題—北から南から



西居 厚氏
(信光ステンレス会長)

ステンレス鋼線専門商社、信光ステンレス(本社・大阪府東大阪市)の西居厚会長は次のように話す。「アベノミクスは高く評価している。3本の矢のうち、既に大胆な金融政策と機動的な財政政策の

3本目の矢は製造業を支える戦略を

2本の矢は放たれた。3本目の矢、つまり民間投資を喚起する成長戦略の具体化が今後の焦点だ。減税などの、日本の製造業を支える戦略が欲しい。製造業の復権が雇用の継続や所得向上につながり、引いては国民の幸せに結びつくのだから……」

ただ、鉄鋼二次製品業界では、超円高の修正による製造業の国内回帰やアベノミクス効果は感じられないという。為替が円安に振れると、輸入製品が値上がりし国内製品との値差が縮小するため国内メーカーの存在感は増すはずなのだが、と嘆く。「ステンレス鋼線業界(メーカー)も合従連衡が進んだが、その恩恵を享受できていない。自動車の集購価格も未定で値決めの矢、つまり民間投資を喚起する成長戦略の具体化が今後の焦点だ。減税などの、日本の製造業を支える戦略が欲しい。製造業の復権が雇用の継続や所得向上につながり、引いては国民の幸せに結びつくのだから……」

ただ、鉄鋼二次製品業界では、超円高の修正による製造業の国内回帰やアベノミクス効果は感じられないという。為替が円安に振れると、輸入製品が値上がりし国内製品との値差が縮小するため国内メーカーの存在感は増すはずなのだが、と嘆く。「ステンレス鋼線業界(メーカー)も合従連衡が進んだが、その恩恵を享受できていない。自動車の集購価格も未定で値決めの矢、つまり民間投資を喚起する成長戦略の具体化が今後の焦点だ。減税などの、日本の製造業を支える戦略が欲しい。製造業の復権が雇用の継続や所得向上につながり、引いては国民の幸せに結びつくのだから……」

ただ、鉄鋼二次製品業界では、超円高の修正による製造業の国内回帰やアベノミクス効果は感じられないという。為替が円安に振れると、輸入製品が値上がりし国内製品との値差が縮小するため国内メーカーの存在感は増すはずなのだが、と嘆く。「ステンレス鋼線業界(メーカー)も合従連衡が進んだが、その恩恵を享受できていない。自動車の集購価格も未定で値決めの矢、つまり民間投資を喚起する成長戦略の具体化が今後の焦点だ。減税などの、日本の製造業を支える戦略が欲しい。製造業の復権が雇用の継続や所得向上につながり、引いては国民の幸せに結びつくのだから……」